

外郭団体経営健全化方針の概要と取り組み状況

【名古屋高速道路公社】

経営状況及び経営方針の記載内容	令和4年度の取り組み結果
・今後の経営環境を見据え、都市交通施設としての基盤を確かなものにするとともに、利便性やサービスの一層の向上等を図るため、現計画に引き続き2019年度から3年間を計画期間とする次期中期経営計画の策定に向け検討を進めており、2019年度以降は新たな計画に基づいて、引き続き必要な取組を推進する。	・高速道路ネットワークの更なる充実と機能向上に取り組むとともに、健全な構造物を維持し、ドライバーの安全性・快適性の向上を図っていくため、2022年度からの3年間を計画期間とする中期経営計画(2022-2024)を策定し、「安全」「安心」「快適」な道路サービスの向上に努めた。
・名古屋市は、（公社が定める次期）中期経営計画に盛り込まれた取組が着実かつ発展的に実施されるように指導・支援を行うとともに、地方道路公社法に基づく指導・監督や、道路整備特別措置法に基づく道路管理者としての関与などにより、引き続き公社の健全経営を図る。	・公社の中期経営計画（2022-2024）に盛り込まれる取組みが着実かつ発展的に実施されるように指導・支援を行った。 ・公社の長期借入金や債券に対する債務保証を始めとする財政的支援を行うとともに、借入金の返済状況等により、健全な経営状況であること確認した。

団体名(名古屋高速道路公社)

○法人の財務状況
(貸借対照表から)

(単位:千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
資産総額	1,695,976,857	1,688,009,500	1,699,431,860	1,695,528,103	1,704,656,470
負債総額	1,378,013,857	1,369,971,500	1,381,183,860	1,375,990,103	1,384,653,470
純資産総額	317,963,000	318,038,000	318,248,000	319,538,000	320,003,000

(損益計算書から)

(単位:千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常収益	78,236,502	77,767,480	67,754,730	65,215,266	68,165,246
経常費用	78,236,502	77,767,480	67,754,730	65,215,266	68,165,246
経常損益	0	0	0	0	0
経常外損益	0	0	0	0	0
当期純損益	0	0	0	0	0

○財政的リスクの状況

(単位:千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
債務超過額	0	0	0	0	0
損失補償、債務保証及び 短期貸付けの合計額(A)	286,029,243	277,977,147	275,045,098	266,644,547	258,929,599
標準財政規模(B)	644,498,894	646,827,243	654,510,356	673,008,099	664,266,118
(A)／(B)	44.38	42.98	42.02	39.62	38.98